

末期的な集金活動など統一協会の現状が 2011年度統一原理問題全国連絡会



全国各教区から 31 名が参加、中身の濃い話し合い

日(木)と9日(金)の両日、教団会議室で開催され、全国各教区の担当者、自主委員会はまず宣教委員長の張加者など31名が参加した。田眞牧師の挨拶の後、長年統一協会問題を取材してきた参議院議員有田芳生氏が講演した。

有田氏は1986年に朝日ジャーナルが靈感商法批判シリーズの記事を掲載し始めた時から統一協会問題と具体的な関わりをもちらんじめ、ジャーナリストとしての活動を始め、現在は参議院議員として活躍してい

て行われ、週刊文春9月8日号の統一協会に関する記事を紹介しながら、高齢化した文鮮明の後継者争いの実態とその中の統一協会の現状と、昨年は3百億円の送金を果たしている定期的な集金活動の実態（同記事参照）等を話した。

有田氏の講演に次いで、今年2月に日本における統一協会の現状を報告するため日本基督教団、カトリック中央協議会、日本聖公会で構成する「統一協会問題キリスト教連絡会」がバチカンを訪問したこと、

6月に韓国の大田で行なわれた教団と大韓イエス教長老会との定期協議について張田宣教委員長より報告があげられ、このことについて協議がなされた。その中で日韓が統一協会問題について互いに窓口を設置し、連絡を取り合い情報を交換すること



講師の有田芳生参議院議員

護士としての感想や展望などを話された。
加えて今年7月にバルセロナで行われた I C S A (the International Cultural Studies Association 国際カルト研究協会) の報告があつたこと、また日本国内でのインターネット上にサイト「やや日刊カルト新聞」の取り組みなどについても紹介してした。なおその報告の詳細は I C S A のサイト(英語)で読むことが出来る。
9日(金)は各教区での取り組みについて報告がなさ

日本大震災の被害教会などにカルトのメンバーが「まじめで熱心な」ボランティアとして受け入れられていることへの警告である。詳細については各教区の担当委員に問い合わせられることをお勧めする。

今年度の全国連絡会も短い時間ではあったが、中身の濃い話し合いが成された。家族等から当教団に相談が絶えない統一協会問題に対しても今後とも取り組んでいくことを申し合わせるなど有益な会であった。

より07年まで工バタ教会牧会し、隠退した。遺族は妻・石田泰子さん。
高崎芳輝氏（隠退教師）



高崎芳輝氏（隠退教師）

陪席者をあわせ延べ 34 名が出席、たくさんのプログラム

開会礼拝は、このたび木千鶴子新活動委員長と交代した谷本一廣前活動委員長が担当し、礼拝後に東久誠運営委員長より長年のや働きに対し感謝が伝えられた。

今委員会では部落解放センターや各教区などの活動報告、震災の被災地からの報告、放射能差別について第8回全国会議の中で氣はかされたことの文章について、センターの活動の見直しについてなどの議事のほか、特別に挨拶や報告、講演の時間が設けられた。

一日目には、大阪・金先で不当逮捕の弾圧にお

会の報告が行われた。大谷教師が保釈されたことを喜ぶと共に、大谷教師への不当な弾圧を、そして弾圧の動きが広がっていること

教会の中の差別問題について、牧師は、青年が教会に入れてほしかった。しかし、牧師は、部落差別に対する青年の知識のなさから青年の気持ちや不安を理解することができない。自分の思いが理解されないことに失望した。青年は教会から遠のいてしまった。牧師は、青年が教会へ

あなたの隣人とは

教会の中の差別

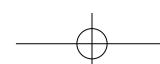


採掘で津糓なりて…何か違う気がする

決断の先には確かな希望がある。すると感じさせ、劇は終わる。

そこに差別がある、と云ふ。づくには痛みや苦しみに対する敏感な感覚が必要だ。自分が差別をしてしまったと受け入れるには大きな勇気が必要だ。それらは容りに養えるものではないだとう。自分が神の前に間違ひを犯し続ける弱い人間であるという自覚をもつて日々を歩まねばならないと思う。

(岡本拓也報)



第4734号

(第三種郵便物認可)

教 团 新 報

2011年10月22日 (4)

長年宣教のため献身された
隠退教師および遺族の生活を
みんなで支えましょう！

日本基督教団

年金特集

年金局編集 No.54

日本基督教団年金局業務室
住所 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会会館56号
電話 03(3202)-2080(直通) Fax 03(3202)2081
振替口座 00190-3-91064

2010年度「退職年金勘定」決算書

2011.3.31
単位 円

	2009年度 決算額	2010年度 計画額	2010年度 決算額	達成率
収入	退職年金掛金	340,608,800	350,000,000	98.70%
	教師退職年金	339,816,000	349,190,000	98.73%
	キリスト教教育主事	792,800	810,000	87.60%
	諸々 献 金	47,460,415	115,000,000	47.86%
	謝恩日献金	44,080,909	110,000,000	39.50%
	特別献金	3,379,506	5,000,000	231.70%
	教団からの繰入金	17,500,000	17,500,000	100.00%
	資産運用益	40,797,004	40,000,000	107.46%
	年金協力金	53,386,056	46,000,000	110.78%
	支える運動から繰り入れI	35,000,000	35,000,000	100.00%
支出	支える運動から繰り入れII	11,757,466	5,000,000	175.38%
	各教区協力金	6,628,590	6,000,000	7,188,950
	その他の収入	0	0	119.82%
	収入計	499,752,275	568,500,000	90.05%
	退職年金給付金	435,870,575	454,380,000	99.32%
支出	終身退職年金	303,669,581	320,000,000	98.04%
	終身遺族年金	104,683,720	103,500,000	101.98%
	有期退職年金	19,784,066	22,000,000	107.39%
	有期遺族年金	6,250,396	7,300,000	94.59%
	併給遺族年金	938,508	980,000	95.77%
	キリスト教教育主事	544,304	600,000	90.72%
	業務運営費	21,306,988	22,700,000	91.58%
	人件費	9,596,298	10,200,000	95.14%
	業務費	10,178,099	10,300,000	96.69%
	広報活動費	1,032,591	1,200,000	93.78%
支出	職員退職準備金	500,000	500,000	0.00%
	予備費	0	500,000	0.00%
	予備費	0	500,000	0.00%
	有価証券価格変動準備金	25,000,000	25,000,000	100.00%
	財政検証準備金	1,000,000	1,000,000	100.00%
支出	その他支出	0	0	0.00%
	支出小計	483,177,563	503,580,000	98.91%
	収支差額	16,574,712	64,920,000	13,844,278
支出	支出計	499,752,275	568,500,000	90.05%

<退職年金勘定> 2010年度貸借対照表

2011.3.31
単位 円

区分	2009年度	2010年度	差引増 △減
借方	現金預金	1,787,683,363	1,903,360,238
	郵便振替	15,791,280	23,998,674
	有価証券	2,273,106,329	2,189,257,188
	仮払金	0	0
	未収金	0	17,750
	合計	4,076,580,972	4,116,633,850
貸方	退職年金積立金	3,970,776,578	3,987,351,290
	当年度受入額	16,574,712	13,844,278
	退職年金積立金計	3,987,351,290	4,001,195,568
	職員退職準備金	6,119,000	6,619,000
	当年度受入額	500,000	0
	職員退職準備金計	6,619,000	6,619,000
	財政検証準備金	7,022,372	8,022,372
	当年度取崩額	0	0
	当年度受入額	1,000,000	1,000,000
	財政検証準備金計	8,022,372	9,022,372
貸方	有価証券価格変動準備金	49,577,200	74,577,200
	当年度取崩額	0	0
	当年度受入額	25,000,000	25,000,000
	有価証券価格変動準備金計	74,577,200	99,577,200
	預り金・未払い金	11,110	219,710
	合計	4,076,580,972	4,116,633,850
	差引増△減	39,844,278	

2010年度日本基督教団年金局決算報告

教団年金を守るために
年金局理事長 納田安晴

今秋の「年金特集」をお届けします。感謝を
もって、二〇一〇年度の年金局決算報告をさせ
ていただきます。

当年度は東日本大震災に見舞われるなど厳し
い年度でしたが、收支差額一、三八四万円を積
立金に繰り入れることができ、退職年金積立金
合計は四〇億一九万円となりました。一九九
八年度からは給付金が掛金を上回り、資金運用
面では超低金利が長期間続いたにもかかわらず、
積立金はついに四〇億の大台に達しました。

今日にいたるまでのご協力とご支援に厚く御礼
申し上げます。

退職年金制度の財政健全化をはかるため、第三
六総会期第四回年金局理事会（二〇一〇年六
月開催）において「謝恩日献金」一億二千万円を
含む「二〇一一年度年金局財務計画」が承認され、
さらにこの計画は第三六総会期第五回常議員会に
て承認されました。二〇一一年度の「謝恩日献金」
の目標額を実現するため、第三七総会期第一回年
金局理事会（二〇一一年一月開催）は、前総会期
と同様に「各教区はそれぞれの事情にふさわしい
方法で努力することとし、その時の献金目標値と
しては、教区の負担金の賦課率による」ことを確
認し、年金局各理事は努力を続けています。

震災直後の四月の給付も無事お送りすることが
できました。教団年金を守るために、困難な時期
ではありますが、重ねてご協力とご支援をお願い
申し上げます。

2010年度「謝恩金勘定」決算書

2011.3.31
単位 円

	2009年度 決算額	2010年度 計画額	2010年度 決算額	達成率
支入	支える運動繰入金	2,000,000	2,000,000	2,000,000
支入	謝恩基金献金	2,200,000	2,000,000	1,200,000
支入	謝恩基金利子	330,000	330,000	435,900
支入	積立金より受入	0	0	0
支入計	4,530,000	4,330,000	3,635,900	83.97%
支出	終身遺族扶助料	3,900,000	3,250,000	3,575,000
支出	予備費	0	70,000	0
支出	支出小計	3,900,000	3,320,000	3,575,000
支出	収支差額	630,000	1,010,000	60,900
支出	支出計	4,530,000	4,330,000	3,635,900

<謝恩金勘定> 貸借対照表

2011.3.31
単位 円

区分	2009年度	2010年度	差引増 △減
借方	現金預金	20,653,192	49,978,192
	郵便振替	0	0
	有価証券	29,894,100	0
	仮払金	0	0
	未収金	0	0
	合計	50,547,292	49,978,192
貸方	前年度末積立金	49,287,292	49,917,292
	当年度受入額	630,000	60,900
	合計	49,917,292	49,978,192
	差引増△減	630,000	60,900

第4734号

(第三種郵便物認可)

教 团 新 報

2011年10月22日 (6)

ささげています。
毎週一時間半かけて更生教会の礼拝に出席できることが貢献しています。教団年金に支えられて生活できますことを心から感謝をいたしております。(報告・原田みづほ)

(西東京・大宮前)
彌吉 英範
教団年金を心より感謝しております。

二〇一〇年三月末日をもって、三七年の教会での働きを終え、隠退しました。数年前から妻の持病(腎臓病)による疲れが顕著になり、静養が必要と判断して、決心した次第です。お陰様でこの一年半、無理はできませんが、妻も少し元気になってまいりました。現在、夫婦揃って、江戸川教会の礼拝に出席しております。私は、年に数回、無牧の教会や牧師の出張、休暇中の教会で、礼拝説教を担当しております。少しでも、教会のお役に立てればと思っています。

(西東京・清瀬信愛)
本宮 啓
二〇一〇年三月、清瀬信愛教会を最後に四六年の牧師生活を隠退しました。肉親たちを信愛病院で看取ることもでき、子としての務めも果たせたのも教会のお陰でした。残された家屋も処分し、わが身を保持し、整理する時が与えられています。これまで関わった教会、学校、病院、保育園など障害のある私を御神は用いてくださり、全面的に共

同して苦労してくれた家人や強力に支えてくれた教会の方々を、感謝しつつ思

い、慰めの主を実感、確信

させられています。

日本橋教会で、御言葉を聞

き、感謝の主を実感、確信

をいたしております。

(報告・原田みづほ)

さしづらくな間、このま

まの状態を続けさせてい

たいと思っています。

今しばらくの間、このま

まの状態を続けさせてい

たいと思っています。

たとき、次の歩みを考え

ておりますし、感謝しながら

礼拝参加をさせていただい

ます。

教会の祈りの結晶でもあ

る年金を感謝して拝受して

おります。

まことに、中部・田原吉胡

一九五六年、神学校卒業し、母教会の中部教区・

熱田教会に招聘されて三五

年、その後、渥美半島の田

原吉胡伝道所で一九年奉仕

して、五四年間の伝道者の

任を終えました。

一貫して中部教区の愛知

県に在住し、教区行政にも

深く関わりました。厳しい

時代を、導きの中で、同僚

の教友達と共に負い得たこ

とを感謝しております。

今は一信徒として日曜礼

事を行っています。

パウロの「恵みによつて

今日あるを得ている」を実

験しておられます。

一九六四年に、教会青年

たちと開園した「愛の園幼

稚園」と二九八九年、幼稚

園教諭たちと開園した社会

福祉法人「ちいしば会」の

二つの法人の理事は続けて

います。

関西労働者伝道委員会の

共同代表は辞し、協力牧師

の任務は続けております。

年金局のお支えを心から

感謝しております。

(兵庫・伊丹)
池田 隆夫

隠退後は、読書中心の生

活をしてます。外出する

ことを覚え、感謝です。

(兵庫・伊丹)
池田 隆夫

隠退後は、読書中心の生

(7) 2011年10月22日

教 团 新 報

(第三種郵便物認可)

第4734号

隠退教師を支えましょう

毎月100円以上の運動献金を

献金は、以下のような概要で使われています（2008年～）

年 度	年 金 协 力 金 I	年 金 协 力 金 II	クリスマス祝金 (1人2万円)	謝恩金勘定 に献金	謝恩一時金 (1人7万円)	献金協力 教会数
2008	3500万円	1203万円	960名	200万円	6名	900教会
2009	3500万円	1175万円	975名	200万円	6名	912教会
2010	3500万円	876万円	1008名	200万円	6名	935教会
2011 (計画額)	3500万円	1278万円	1008名	200万円	6名	

<新科目による> 2011年度目標額

2011.3.31
単位 円

	科 目	2010 年度 決算額 (参考)	2011 年度 目標額	備考
収 入	諸 献 金	77,187,706	77,500,000	
	100円 献 金	76,011,899	76,300,000	
	運 動 指 定 献 金	1,175,807	1,200,000	
	預 金 利 子	12,175	10,000	
	前 年 度 繰 越 金	8,769,043	12,787,449	
	合 計	85,968,924	90,297,449	
支 出	年 金 局 繰 出 金	45,769,043	49,787,449	
	年 金 協 力 金 I	35,000,000	35,000,000	
	年 金 協 力 金 II	8,769,043	12,787,449	
	謝 恩 金 勘 定	2,000,000	2,000,000	
	謝 恩 金 受 給 者 一 時 金	420,000	420,000	
	クリスマス 祝 金	20,160,000	20,160,000	
	謝 恩 金 受 給 者	100,000	100,000	* 1
	退 職 年 金 受 給 者	15,300,000	15,300,000	
	退 職 年 金 非 受 給 者	4,760,000	4,760,000	* 2
	特 別 援 助 金	1,000,000	1,000,000	* 3
	推 進 活 動 費	5,832,432	5,995,000	
	広 報 費	550,558	560,000	* 4
	委 員 活 動 費	257,035	280,000	
	本 部 推 進 委 員 活 動 費	180,000	180,000	* 5
	教 区 推 進 委 員 活 動 費	77,035	100,000	* 6
	会 議 費	725,823	800,000	
	全 教 区 推 進 委 員 会 費	688,177	750,000	
	教 区 推 進 会 議 費	37,646	50,000	* 7
	事 務 費	4,299,016	4,355,000	
	人 件 費	1,326,880	1,350,000	* 8
	事 務 所 費	607,860	610,000	* 9
	業 務 委 託 費	500,000	500,000	* 10
	旅 費 交 通 費	259,945	270,000	* 11
	通 信 費	858,370	860,000	* 12
	送 金 手 数 料	355,747	370,000	* 13
	事 務 用 品 費	377,614	380,000	* 14
	諸 費	12,600	15,000	
	予 備 費	0	12,935,000	* 15
	次 年 度 繰 越 金	12,787,449		
	合 計	85,968,924	90,297,449	

<2011年度目標額> 備 考

- * 1 教団年金発足以前の退職者遺族5名（各2万円）教団年金局経由
- * 2 教団社会委員会経由
- * 3 「にじのいえ信愛荘」支援（年1回定額）
- * 4 「よろこび」・「年金特集」発行 風船チラシ印刷
「信徒の友」へ広告掲載（年1回3月号）
- * 5 委員長・事務局長活動費（毎月定額）
- * 6 会議費以外の活動費
- * 7 教区推進委員会・座談会等
- * 8 事務局員費
- * 9 事務室分担金 パソコンのメンテナンス代
- * 10 日常経理事務処理、「よろこび」「年金特集」編集等委託（年1回定額）
- * 11 事務局長、事務局員の通勤交通費含む
- * 12 事務局用切手・ハガキ・メール便代
- * 13 郵便振替、銀行送金手数料
- * 14 封筒・振替用紙・献金袋等
- * 15 予備費残は、次年度に繰越した上、年金協力金IIに繰入れる。

「100円献金」は大震災にもめげず！

「隠退教師を支える運動」推進委員会

委員長 大杉 弘

今年は、東日本大震災に引き続いて、台風・豪雨と、災害続きの日々で、ただただ被災地、被災者の上に主のお守りとお支えを祈ります。そのような中で「隠退教師を支える運動」二〇一〇年度決算をご報告することができ、幸いを覚えております。

素晴らしい決算でした。献金額は、過去最高、被災教会からも捧げられました。活動諸経費も計画額の範囲内に納まりました。主は、この信徒運動を祝福され、豊かな笑顔をお与えくださいました。感謝です。

『被災教会からも……』と、サラリと触れたが、しかし、その報告を受けた時は驚きました。そして、信徒力に感激しました。地震が起つたその日、「100円献金」に影響があるのでは……」との思いが脳裏を横切りました。その思いをいま恥じておられます。信徒方は素晴らしい！

教団の今日的課題は《伝道》です。隠退教師を支えることは、現役教師の将来を明るくし、伝道力を高めることにもなります。

「100円献金」に、更なるご協力をお願いします。

主にありて

「隠退教師を支える運動」
2010年度計画額・決算額2011.3.31
単位 円

	科 目	2010 年度 計画額	2010 年度 決算額
収 入	諸 献 金	75,500,000	77,187,706
	100円 献 金	74,500,000	76,011,899
	運動 指 定 献 金	1,000,000	1,175,807
	預 金 利 子	20,000	12,175
	前 年 度 繰 越 金	8,769,043	8,769,043
	合 計	84,289,043	85,968,924
支 出	年 金 局 繰 出 金	45,769,043	45,769,043
	年 金 協 力 金 I	35,000,000	35,000,000
	年 金 協 力 金 II	8,769,043	8,769,043
	謝 恩 金 勘 定	2,000,000	2,000,000
	謝 恩 金 受 給 者 一 時 金	420,000	420,000
	クリスマス 祝 金	19,500,000	20,160,000
	内 訳 謝 恩 金 受 給 者	120,000	100,000
	内 訳 退 職 年 金 受 給 者	14,880,000	15,300,000
	社 会 委 員 会 経 由	4,500,000	4,760,000
	特 別 援 助 金	1,000,000	1,000,000
	活 動 援 助 金	830,000	677,008
	内 訳 教 区 委 員 活 動 費	80,000	97,101
	内 訳 教 区 委 員 会 議 費	750,000	579,907
	広 報 費	450,000	550,558
	業 務 運 営 費	4,560,000	4,604,866
	人 件 費	1,400,000	1,375,900
	会 議 費	50,000	44,820
	事 務 費	3,100,000	3,171,546
	諸 費	10,000	12,600
	予 備 費	11,760,000	0
	次 年 度 繰 越 金		12,787,449
	合 計	84,289,043	85,968,924

<2010年度決算> 備 考

- ◎謝恩一時金は、謝恩金受給者6名の方々にお一人7万円をお贈りしました。
- ◎クリスマス祝金は、以下の1,008名の方々にお一人2万円をお贈りしました。
 - (1) 謝恩金受給者の方5名
 - (2) 退職年金受給者の方765名
 - (3) (1)(2)に属さない隠退教師及びご遺族の方々238名

